

## 最新情報

### 1) Version7.0.2 が Update されました。

これにより下記の項目が、Version7.0.1 との主な違いになります。

**多次元データ取得ウィンドウ**; ZDC を使用されている場合、Stage のタブの中に「Find Offset」のボタンが追加されました (ZDC を多点で使用され、MDA をお使いの User 様に大変便利になりました)。

**多次元データ取得ウィンドウ**; IX81 と Z の Piezo をお使いの User 様の場合、Main のタブの中で、2つの Z フォーカスを使い分けて制御できるようになりました。

**多次元データ表示ウィンドウ**; 「OIF」と「OIB」のファイルを表示することが可能になりました。

**Photometrics (Roper Scientific)**; PIXIS 512B を正式にサポートしました。

**Q-Imaging**; Retiga-SRV の iGLOW モニターの On/Off が Acquire ウィンドウの中で設定できるようになりました。

**Andor camera**; EM Gain の設定を改良しました。

### 2) Meta Imaging Series の既存ユーザーの扱いについて

既に MetaMorph Basic, MetaMorph Offline, MetaVue をお持ちのユーザーが、MetaMorph をさらにライセンスを購入される場合、**MetaMorph Premier 既存ユーザー**として購入することが可能です。構成により金額が高くなる可能性もありますが、MetaMorph Basic の既存ユーザーにオプションを追加して頂く、充実した構成にすることが可能です。

### 3) アンドール社 LUCA の紹介

アンドール社より EM-CCD カメラの新規カメラとして、LUCA を発売しました。

Meta Imaging series Version7.0.2 での動作確認が確認出来ました。特徴は、USB2 での接続になりますので、ノート PC での制御も可能です。従来の iXon ほどの冷却温度と、iXon+ の特徴である EM-Gain のリニアリティはありませんが、従来の EM-CCD カメラに比べ定価が安く設定されておりますので、感度を重視しつつ、コストを抑えたい場合には良いカメラかと思えます。

**定価 ¥1,695,000-(SDK 含む、税別)**

<カメラの主な仕様>

素子数 : 658 x 496

素子サイズ : 10  $\mu$ m x 10  $\mu$ m

最大転送速度 : 12.5MHz (30fps)

冷却温度 : -20°C

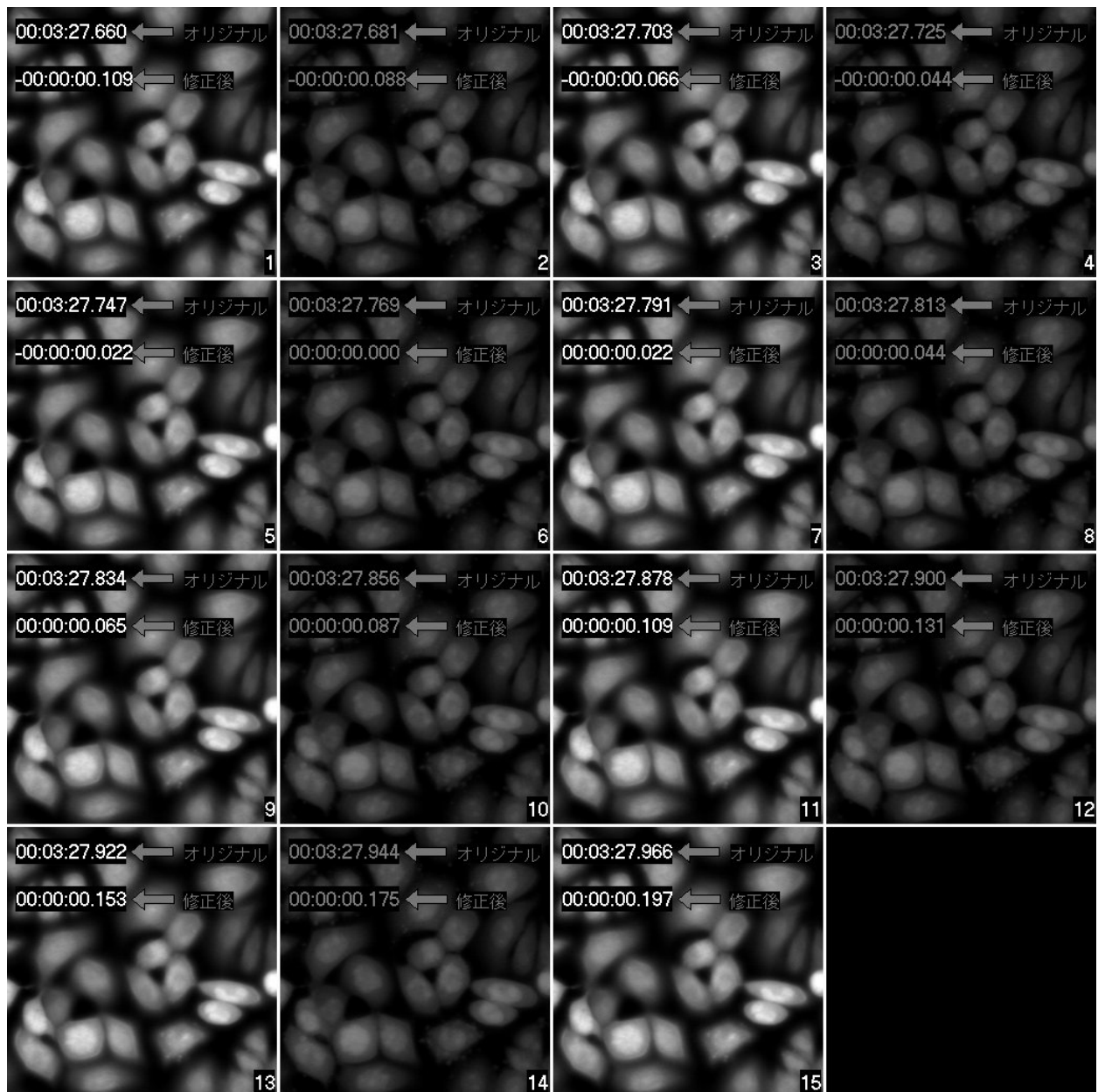


### 4) Live Replay 機能についての追記

既に Version7 のリリースに伴いご紹介しております Live Replay 機能の紹介をさせて頂きましたところ Timestamp についてご質問を頂きました。

Live Replay を行い「F11」か「Capture Live Image コマンドボタン」をクリックしたタイミングの前後の画像を取得しますが、そのトリガーを入れたところを「0(ゼロ)」とし、トリガーの前を「-(マイナス)」で表示することが出来ないか? というご質問です。

こちらに関して、Measure menu / Assign Time Reference の機能を使用し、「0(ゼロ)」の場所を決めることができます。次ページに「オリジナル」の時間と、ゼロ設定を「6 枚目」をゼロと設定した Time stamp のものを表示致します。



また、MetaMorph Basic のオプション (Premier では標準機能) であります Digital I/O との組み合わせを用いますと、Live Replay の画像取得のトリガーと同期をとり、外部とのやり取りも Journal (マクロ) 機能により、設定することが可能になります。

お客様のご要望がありましたら、各営業担当へお問い合わせ下さい。

### 5) 露光時間が長い場合のカウンタダウンについて

発光のアプリケーション等で露光時間が長い場合、MetaMorph のウィンドウの中で、どれくらいの露光時間が経過したか分かるようになっておりません。そこで、外部にカウンタダウンするような Hardware を NMDC がこの度、設計しました。まだ試作機ではありますが、右のようなタイマーがカウンタダウンをし現在の露光時間の残りを表示するというものです。(具体的には、露光時間が20分という設定で、取得される場合どんどん表示の数字の20分00秒が減ります。)



お客様により仕様が異なると思いますので、仕様をお知らせ頂ければ、こちらのパーツを箱等に収め、商品にしようと考えております。

ただし MetaMorph Basic のオプション (Premier では標準) のデジタル入出力オプションを用い信号のやり取りをしていますので、オプション追加が必要になる場合がございます。

詳細については各営業担当へお問い合わせ下さい。

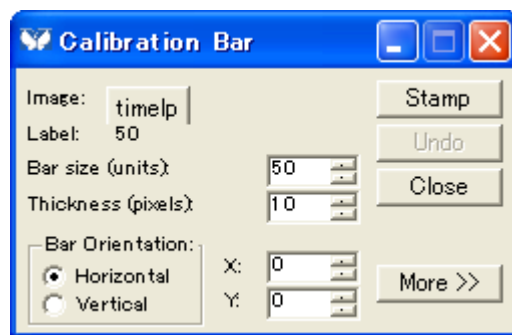
### 6) Custom Toolbar について

従来より Meta Imaging series Administrator の設定で新規に Toolbar を作成して頂くことが出来ます。この Toolbar ですが、各ウィンドウ以外にも Journal 等も割り当てることができ、且つアイコンも設定できますので、大変見栄えの良いものを作成することができますが、一度作製した Toolbar を次回、他のお客様の異なる MetaMorph で使用したいという場合は、特定のファイルを特定のフォルダにコピーするだけで、Toolbar を毎回作製する必要がなくなり大変便利です。

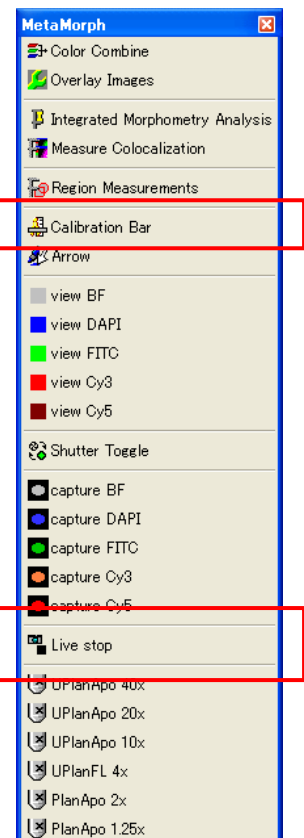
Meta Imaging software (MetaMorph) をインストールされたフォルダ (MM) の中の、Groups フォルダの中に「MetaMorph」フォルダないしは「MetaMorph Offline」フォルダがあります (Custom Toolbar で作製された「Group name」のものを選択して下さい)。これらのフォルダの中に、「Custom.xml」ファイルがあります。このファイルを、次回コピーされたい PC の MetaMorph フォルダの中に上書きして頂ければ、再度、Toolbar を作成する必要がありません。

下記に、Custom Toolbar の例を示します。

こちらのボタンをクリックすることで、ウィンドウを開いたり、設定されている Journal を開始したりすることができます。



Live を止める。



以上